

丸山 久さん 令和5年3月逝く

あかね会庶務 溝口 猛(昭和44年卒業)

昭和44年5組卒業の丸山久さんが、2023(令和5)年3月27日(月)に72歳の天寿を全うされました。国分寺内科中央病院において、虚血性心不全で亡くなり、4月5日(水)に立川市斎場で葬儀・告別式が執り行われました。

丸山さんは、南多摩高校卒業後、東京藝術大学の声楽科を卒業し、(有)立川楽器を経営されていました(後に営業を中止)。テノール歌手として童謡や抒情歌を地元の人たちと歌い、主に西国分寺駅近くの「いずみホール」などで活動をしていました。

丸山さんが主催していた合唱団は、「東京童謡合唱団」「コール白馬」「山の手合唱団」「多摩童謡の会」など多数あります。その中で40年の付き合いがあった「コール・スワン」の世話役であった大健(おおだて)悦子さんには公私とも大変お世話になったとのことでした。

あかね会では、総会でカンツォーネ、抒情歌などを披露していただくほか、合唱曲で有名な「白馬旅情」など多数の曲を作曲されました。南多摩100周年記念総会でのコンサート、総会や新年会での童謡歌唱の指導、校歌斉唱の指揮などをお願いしてきました。

2016(平成28)年1月、あかね会新年会の出席のうちにパーキンソン病等を患い、その後の参加はありませんでしたが、永くあかね会活動にご貢献いただきました。

2020(令和2)年6月に、自宅の庭で転倒し身動きできない状況でいたところ、たまたま訪れた合唱団の方に発見され、直ちに救急搬送されました。

その後、2021(令和3)年4月に、グリーンドーム東村山というケアハウスに入所しました。2022(令和4)年9月に、左腕を骨折し手術をして、10月に緩解したようですが、12月中旬に患部が腫れ上がり発熱し、骨折部位から菌が入り、全身にまん延して重症となりました。本年3月9日に国分寺内科中央病院に転院して療養しましたが、薬石効なく3月27日に逝去されました。



2016(平成28)年あかね会新年会で童謡を歌う、在りし日の丸山久君

4月5日(水)の葬儀・告別式は、小規模な家族葬でしたが、葬儀当日にご兄弟数名に姪御さん甥御さんが数多くお見えになりました。生前、丸山さんが指導していた合唱団の方々やご近所の方など、沢山の方がご弔問にお見えになりました。

読経、焼香ののち、合唱団の皆さんと参列者が、丸山久作曲の「白馬旅情」ほか数曲を歌いあげ、葬送の手向けとなりました。

当日、ピアノ伴奏と指揮をいただいた鈴木裕子さんは、彼の東京藝術大学時代の同級生で、クラス一の才媛で彼が何かつけ頼りにしてきた方だそうです。鈴木さんの明るくユーモアのある司会進行で、温かな雰囲気のお見送りができたようです。

天候にも恵まれ、桜花吹雪の舞い散る中を、大勢の方に見送られ丸山さんは旅立たれました。

合掌

*丸山久さんの「白馬旅情」(独唱)と「オーロラのもとへ」(女声との輪唱)はYouTubeで視聴ができます。

<https://www.youtube.com/watch?v=RML6NOGXemU>



平成22年のあかね会総会で歌う丸山さん



4月5日の立川市斎場での葬儀・告別式